

[要約] 沖縄県における 1977-2015 年間のハブ類咬症の症状ならびに治療の様式 10—受傷者の活動別の咬症発生状況を含む咬症頻度

安座間安仙・西村昌彦*・照屋盛実・盛根信也**・古謝あゆ子

[Summary] Symptoms and Treatments at the Bites of Viperid Snakes in Okinawa Prefecture from 1977 to 2015 (10) - Bite Frequencies in Each Activity of Bitten Man Including on Bite Situations

Yasuhito AZAMA, Masahiko NISHIMURA*, Morimi TERUYA, Nobuyo MORINE**,
and Ayuko KOJA

全文掲載, All content : https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/syoho/syoho56_60.html

Key words: ハブ, サキシマハブ, ヒメハブ, 咬症, 受傷者の活動, 受傷状況, 症状, 治療, 沖縄県, Viperid snake, *Protobothrops*, *Ovophis*, Bite case, Activity of bitten man, Bite situation, Symptom, Treatment, Okinawa Prefecture

[要約]

沖縄県内で 1977-2015 年の 39 年間に発生したハブ 2730 件, サキシマハブ 1388 件, ヒメハブ 469 件の咬症資料を材料に用い, 受傷者の活動別に受傷状況ならびに受傷後の症状と治療の各項目の咬症頻度を集計し比較した. 集計は各へび種の全咬症事例を対象とし, 以下では, 複数のへび種において同様な傾向が認められた場合のうち, 必然的なもの以外の頻度について記載した.

季節ごとでは, 通行中の咬症頻度が 12-2 月と 3-5 月に低頻度, 農作業中の頻度が 3-5 月と 6-8 月に低頻度ならびに 9-11 月に高頻度であった. 時刻ごとでは, 用便中の咬症頻度が 0-6 時に高頻度ならびに 7-11 時に低頻度, 通行中の頻度が 0-6 時ならびに 19-23 時に高頻度で 7-11 時, 12-13 時, 14-18 時に低頻度, ハブ扱い中の頻度が 7-11 時に低頻度で 19-23 時に高頻度, 屋外の他の活動の頻度が 7-11 時に低頻度であった. 受傷場所ごとでは, 通行中の咬症頻度が庭等で高頻度, 草刈り中の頻度が他の畑と草地・林・山で高頻度ならびに他の道で低頻度, ハブ扱い中の頻度が室内で高頻度ならびにキビ畑と他の畑で低頻度であった.

受傷部位ごとでは, 就寝中の咬症頻度が前腕と足指で高頻度, 用便中の頻度が足で高頻度ならびに手指で低頻度, 通行中の頻度が足指と足と下腿で高頻度ならびに手指と手と他の部位(上腕, 大腿, 軀幹, 頭部)で低頻度キビ刈り中の頻度が手指で高頻度ならびに足で低頻度であった. 農作業中の頻度が手指と手で高頻度ならびに足指と足と下腿で低頻度, 草刈り中の頻度が手指と手で高頻度ならびに足指と足と下腿で低頻度, ハブ扱い中の頻度が手指で高頻度ならびに足で低頻度, 屋外の他の活動の頻度が他の部位で高頻度ならびに手指で低頻度であった.

応急処置の吸引有りの咬症頻度がハブ扱い中で高頻度, 症状の疼痛有りの頻度が通行中で高頻度ならびにキビ刈り中で低頻度, 出血有りの頻度がキビ刈り中で低頻度であった. 過去の受傷有りの頻度が通行中と屋外の他の活動で低頻度ならびに農作業中とハブ扱い中で高頻度であった. 牙痕数が 2 以上の頻度が通行中で高頻度ならびに農作業中で低頻度であった. 治療期間が 7 日以上頻度が草刈り中で低頻度であった. 入院有りの頻度が通行中で高頻度ならびに草刈り中で低頻度であった. 機能障害有りの咬症頻度がハブ扱い中で高頻度であった.

* 元 沖縄県衛生環境研究所職員 ** 沖縄県 保健医療部 中部保健所